
STOP ;

機能 :

STOP は TSP プログラムを終了させます。もしいくつかの変数がデータバンクへ出力するために保存されていれば、プログラムが終了する前にデータバンクに書きこまれます。

使用法 :

通常、TSP のプログラムセクションの後に置かれる END ステートメントの前に、STOP ステートメントが置かれます。この STOP ステートメントは、END ステートメント自身が STOP を意味しているので必ずしも必要ではありません。

しかし、END ステートメントまでいかに TSP プログラムのどこかで終わりたい場合、適当なところで STOP ステートメントを使って終わることが出来ます。

例 :

次は、STOP と END の使い方を示す非常に簡単な TSP プログラムの例です :

```
NAME SIMPLE ;
? THIS IS THE PROGRAM SECTION.
LOAD ;
PRINT X ;
STOP ;
END ;
? THIS IS THE DATA SECTION.
SMPL 1 5 ;
LOAD X ;
1 2 3 4 5 ;
END ;
```

アウトプット :

STOP にはプリントアウトはありません。データバンク出力するときは、プログラム終了前に変数はデータバンクに保存されます。